

# INTREPID<sup>TM</sup>

JAPAN CORSE

## 2017 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第3戦・第4戦

開催場所 本庄サーキット(埼玉県)  
開催日 6月3日・4日  
参加台数 OKクラス 26台  
天候 晴れ  
路面状況 ドライ



～INTREPID JAPAN CORSE～

監督:佐藤奨二 ドライバー:佐藤巧望  
メカニック:伊藤進 エンジン担当:K SPEED WIN

## 2017 全日本カート選手権は OK クラス初開催の地、本庄へ

全日本カート選手権の最高峰 OK クラスは第3&4戦の地、埼玉県は本庄サーキットへ。ここ本庄サーキットは普段カートの走行はなく、東地域の FS125 クラスに参加したことがあるドライバーやチーム以外は セッティングデータやノウハウが無い難しいコンディションとなった。



## 【練習走行】4輪のコースレコードより3,5秒速い OK クラス!!

ここ本庄サーキットの4輪コースレコードは GT-R が S タイヤで 39,57 秒。OK クラスは 36,0 秒フラットと圧倒しており、OK クラスがいかに速いかが伺える。佐藤は練習走行では 36 秒中盤でエントリー台数 26 台のなかでも中盤のタイム。チームは、セットアップを探りながら特殊なサーキットでのアジャスト試みる。しかし、刻一刻と変わる路面コンディションや普段のサーキットにはない特徴もあり36秒台前半のタイムには届かなかった。





## 【タイムトライアル】 全体 24 位

2017年6月3日 PM15:16 OKクラスのタイムトライアルが始まる。練習のタイムであれば順位は中盤が予想されたが、なぜかタイムが上がらない。まさかの24位という結果でセットの方向等を大至急確認し、夕方の第3戦の予選に備えることとなった。

## 【第3戦 予選】 17 位



16時46分 OKクラスは第3戦の予選がスタート。エンジンに厳しいサーキットとあってか、有力ドライバーにエンジントラブルが襲いかかるなか、佐藤はタイムトライアルのタイムを超えるペースで周回を重ねる。TOPグループとのベストタイムの差も少なくなった。それでもなお苦しいレースとなったが17位フィニッシュ。スリップが良く効くコースで、レースの組み立て次第ではタイム差はあまり意味を持たなくなる場面もあるようで、展開次第では上位に割って入る可能性を感じる予選となった。

## 【第3戦 決勝】 20 位

日曜日は朝の公式練習ののち、第1レース決勝となる。午前10時に始まった決勝レース。まずまずのスタートを決めた佐藤は混乱のなかポジションをキープ。調子も良さそうに見える。順位も徐々にあげ10位グループに追いつき、苦しいタイムトライアルからポイント獲得が見えてきた。レース中盤、3コーナー立ち上がりで、グループ前半の選手たちが接触、思わぬ形で佐藤の前に立ちはだかりタイヤとタイヤがヒット。佐藤はマシンから体のはみ出すほどの衝撃を受けながらも、なんとかコース上に留まった。しかしその後は、レース前半のスピードが戻らず20位フィニッシュ。幸いドライバーにはダメージは無かったものの、シャフトやシートに破損が見られるほどの衝撃だった。避けられないレーシングアクシデントで残念な結果ではありましたが、苦しいながらも光るものは見ることが出来ました。



## 【第4戦 予選】 17 位



第4戦の予選は日曜のお昼12時にスタート。タイムトライアルの順位からのスタートとなるため後方からのスタートとなった。佐藤は順位こそ上げるもののタイムが上がらず17位でゴール。今大会は流れも上手く掴めず、苦しい展開となっている。決勝レースは夕方、気温も下がり予選ともコンディションも変わるためチームはセットアップを変更。全日本OKクラス全5コース/10レースにおいて恐らく一番データが無く、私たちにとっては難しいコース。最後の決勝レースでは苦しいながらも良いレースになるようドライバーともコミュニケーションをとった。

午後4時前、全日本カート選手権 OK クラス第4戦 決勝スタート。スタート直後の3コーナーでは複数台によるクラッシュがあり慎重にかわしたこともあり前方との差が広がる。ペースはレースウィークを通して一番よく、TOPグループと比べても遜色はない。レースラップやマシンの動きも良いものの、スリップを上手く使われ中盤グループで抜きつ、抜かれずの展開となり前方グループに追いつく事が出来ない。結局、15位でゴールとなった。決勝レースではポイントを獲得できるスピードはあっただけに残念な結果となりましたが、苦しいながらも最後に光るものはありました。次戦は約2カ月強のインターバルをおいて昨年タイトルポールポジションを獲得したフェスティカサーキット瑞浪。今回の反省部分と今年の自信を持って臨みます！



## ドライバー 佐藤巧望 コメント



### 第3戦

今回はレースウィークに入ってからずっと流れが悪く、タイトラまで引きずってしまいました。スタート付近ではほかのマシンに乗り上げてしまいシフトが曲がってしまい、シートも割れてペースが上がりませんでした。

### 4戦

今までの中で1番感触が良かったのですが、それでもペースが足りませんでした。次戦は得意の瑞浪なので、今回の悔しさをばねに頑張ります！

## INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督

初開催のコースで、車両セット・コース攻略を含め全ての領域で力不足だったと痛感させられたレースとなりました。次戦まで2カ月インターバルがあるのでその期間を有効活用して、今回のレースで起きた問題点を分析し、対策テストをしてチームのホームコースである瑞浪に挑みたいと思います。

